

く存じます。さて、何故私のような者がこのテーマでお話をさせて戴くかと申しますと、御紹介にありましたが私は函館に参ります前に昭和60年に自分で企画・立案した子会社を設立して経営にあたるというチャンスに恵れ、その事業内容が元日航のスケジュールに集まってもらいマナーの講師として養成し、各種企業団体のマナー研修を承るといふものでした。

私が会社に入りました昭和44年は所謂ジャンボジェット登場の前の年でスケジュールの数も600名でしたが子会社を設立した、昭和60年で既に4,500名おりまして、現在では6,300名を越えております。昭和44年、当時訓練教官がスケジュールの卵達に教える際にあなた方のお父様に接するようにお客様に接しなさいと云えば、大体サービスの基本論のニュアンスが伝ったとの事です。ところが既に昭和60年当時、そんな事を云ったらエライ事になる、所謂新人類と呼ばれる若者が登場してきたという時代背景もこれあり、8年間在籍しましたが倒産もせずにやって来れたわけです。

で私自身、マナーとはかなりイメージがかけ離れておりまして、当時マナー研修のセールスに走り回りましたら、内外の友人から何お前がマナー？といふかられたものですが、元スケジュールのプロの先生達に囲まれておりまして、所謂門前の小僧のお経程度に習い覚えたものを披露させていただきますので、これを機にマナー研修に御興味をお持ちになりましたらそのプロを呼んで参ります。

◎ 出席報告

会 員 数	69名	出 席 率	函 館 北 9月28日	85.29
出 席 席	47名		函 館 東 9月27日	96.81
欠 席 席	22名		函 館 9月22日	87.02
他クラブ出席	11名		函館五稜郭 9月23日	祝日休会
出席合計	58名		函館亀田 9月26日	90.20
除 外 者	1名			

次回・10月19日  
プログラム

「 卓 話 」



# 函館北ロータリークラブ会報

ビル・ハントレー 国際ロータリー会長テーマ

友達になろう  
BE A FRIEND

富原 薫 ガバナー テーマ「地域にねぎして世界と語ろう。」  
濱 武 会長 テーマ「夢と愛と知恵そして少しの勇氣。」



北海道新聞社 函館支社

《第1509回例会》 第15号 10月19日(水)

本日のプログラム

「 勝馬投票今昔物語 」

函館競馬場々長 大石 敏雄氏

★会 長 濱 武 ★幹 事 大野 章

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務所：函館市大手町5-10 二子ビル3階 23-3870

## ◎司 会 演 武 会 長

## ◎会長報告 演 武 会 長

本日は職業奉仕月間にちなんで、職業奉仕委員会の西尾委員長、佐々木公和委員長の御尽力により北海道新聞社函館支社見学となりました。

会長報告は、

- 台北東北R.C.の会長さんより、先の北海道東方沖地震に対するお見舞の電話とFAXを頂戴致しました。懇切な内容で恐縮しております。
- 佐々木速人会員より退会届が提出され、誠に残念ではありますが、先に理事会が開催された際、受理することと致しました。

## ◎職業奉仕委員会 西尾 昌一 委員長

本日は道新さんの御好意により新聞の出来るまでの見学です。このあと防災課の畑中さんより説明がビデオと夕刊早版の印刷見学を間にはさんで御座居ます。

## ◎道新の畑中道太郎氏よりビデオを交えて

北海道新聞が全道120万部、函館管内15万部の発行部数であって函館で現地印刷をしていること、その為今回の東方沖地震の際も翌朝の新聞に報道が間に合った等のお話がありました。現在新聞は昔のように鉛の活字を使ってはいなくコンピューターで原稿処理をしてオフセット印刷です。

## ◎親睦活動委員会 大野 章 幹事

## ニコニコBOX投入報告

演 会長……道新さんお世話になります。

森(秀) 会員……ちょっといいことがありました。

## ●台北東北R.C.からのお見舞状

親愛的撰武會長暨全體日本函館北友好社友大家好：

從新聞媒體得知十月四日的大地震造成北海道北部地區嚴重的災害，不論是公共建設或是個人的生命財產均造成重大損失。值此天災之際，不知貴友好社全體社員及僑眷是否安然無恙。本人暨本社全體社友謹此表達我們最深切的問候之意。並由衷的希望貴社本著風雨牛信心的大無畏精神，大家心手相連，再次開創北海道地區人文及經濟的空前發展。

謹此 敬祝

社安

台北市東北扶輪社

社長 黃聰明 JIM

暨全體社友 謹啟

八三、十、六



## ●北海道新聞社概要

北海道新聞社は、昭和17年当時、札幌・函館・旭川・小樽など道内各地にあった11新聞社が統合されて設立されました。

(当地函館には北のめざまし(明治27年1月17日創刊)函館日日新聞(明治31年7月1日創刊)函館新聞(明治45年6月15日創刊)函館タイムス(昭和9年12月1日創刊)が発行されていましたが昭和17年12月1日に統合して新函館の題字で発行、社屋は末広町にあり昭和17年11月1日北海道新聞に統合、昭和46年9月まで編集・印刷発行して以後現社屋の五稜郭町に移転しました。)

爾来、平成4年11月に創立50周年を迎えました。源流は明治20年創刊の「北海新聞」にまでさかのぼることができ、創業以来100年を越える長い歴史と伝統を持っております。従業員数は約2,000人(内は函館支社は約150人)です。発行部数は平成5年12月に120万部(函館支社管内15万部)に達し、全国で7番目にランクされる「ミリオン・ペーパー」として道民から厚い信頼と支持をいただいております。

「北海道新聞」と「道新スポーツ」の日刊紙発行をはじめ、月刊誌「道新Today」

北海道年鑑・北海道新聞縮刷版など年間50点以上の本を出版しています。

また、北海道新聞のニュースは、u h b・T v hの両テレビ局やエフエム北海道・HBC各ラジオ局へ配信されているほか、JR札幌駅前・函館駅前・五稜郭公園電停など道内都市9カ所の電光掲示板などを通じ、流されています。

平成2年、パソコン通信「道新オーロラネット」を開局し、平成3年6月には女性向け週刊無料生活情報紙「オントナ」が発行されました。

このほか、文化・スポーツ関係の各種公演・イベント・大会・カルチャー教室など、通信・文化系のあらゆる分野で、北海道新聞社をはじめ道新グループ各社が総合情報企業として前進を続けております。

北海道新聞社は、昭和60年に日本IBMと共同で、コンピューターによる新聞製作方式を完成させました。

この製作システムは、北海道新聞の題字模様になっている「北斗七星」のことを英語でディッパーといいますが、これにちなんで『ディッパー』と名付けられました。

今日では各新聞社ともコンピューターによる新聞づくりが主流となっておりますが、北海道新聞社は業界に先駆け、日本経済新聞社の『アネックス』・毎日新聞社の『ネルソン』に次いで全国で3番目にこの方式を開発し、それまでの活字による新聞づくりからいち早く脱皮しております。

◎ 出席報告

会 員 数	69名	出 席 率	函 館 北 10月 5日	85.51	
出 席	45名		函 館 東 10月 4日	95.74	
欠 席	24名		函 館	9月29日	86.78
他クラブ出席	14名		函館五稜郭	9月30日	100.00
出席合計	59名		函館亀田	10月 3日	96.06
除 外 者	0名				

次回・10月26日  
プログラム

「卓 話」

函館税務署 署長 笹田良三郎氏



# 函館北ロータリークラブ会報

ビル・ハントレー 国際ロータリー会長テーマ

## 友達になろう BE A FRIEND

富原 薫 ガバナー テーマ「地域にねぎして世界と語ろう。」  
濱 武 会長 テーマ「夢と愛と知恵そして少しの勇氣。」



10月19日卓話 大石 敏雄氏

### 《第1510回例会》 第16号 10月26日(水)

本日のプログラム

#### 「数字が語る税」

函館税務署 署長 笹田良三郎氏

★会 長 濱 武 ★幹 事 大野 章

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 事務所：函館市大手町5-10 二チロビル3階 23-3870